

別府クルージング

2019年5月22日～25日（上関—別府—上関）

【2019年 別府クルージング計画書】

(M=マイル)

日付	出発時間	出発港	区間距離	経由	区間距離	到着時間	停泊港	航程
5/22(水)	6:00	廿日市	25M	大島の瀬戸 (転流時 9:50)	20M	12:30	上関	45M
5/23(木)	5:00	上関			48M	13:30	別府北浜ヨットハーバー	48M
5/24(金)	5:00	別府北浜			48M	14:30	上関	48M
5/25(土)	7:30	上関	20M	大島の瀬戸 (転流時 9:20)	25M	14:03	廿日市	

[連れ潮 8.9ノット]

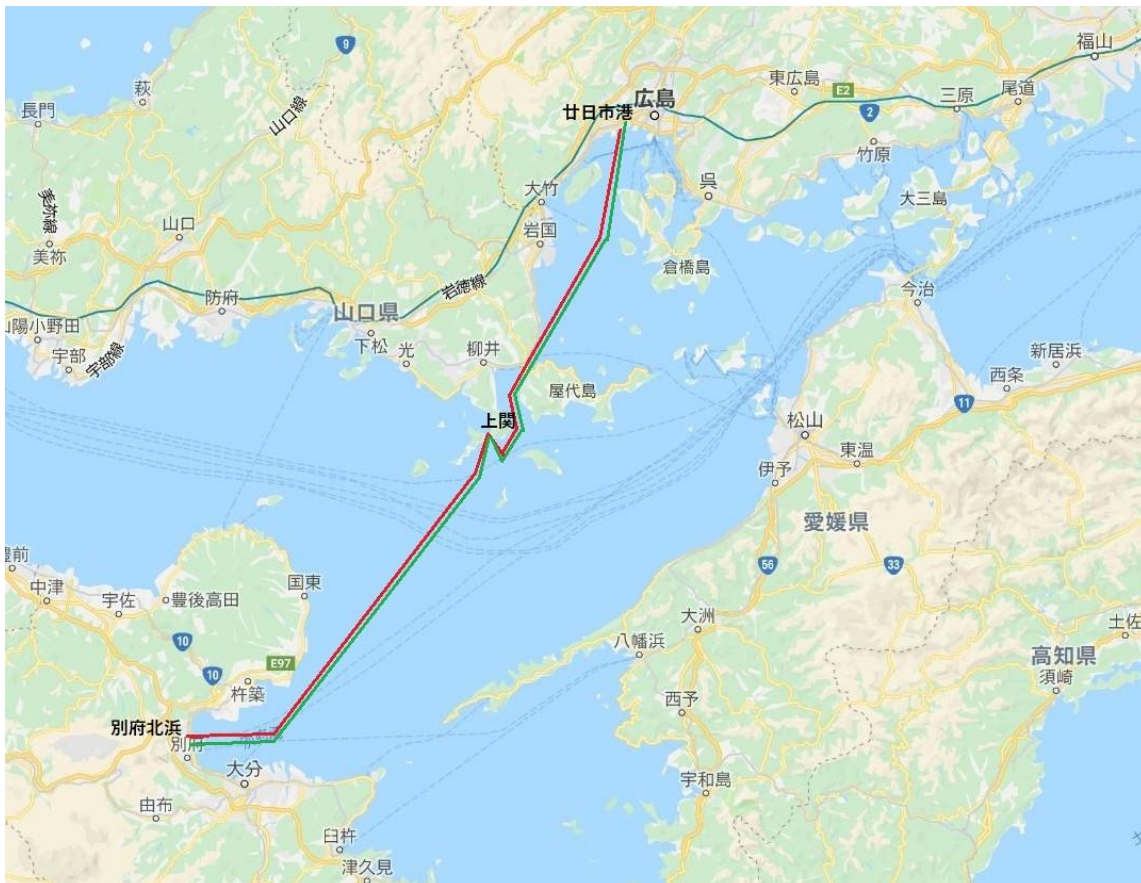
【消費燃料】

日程	航程距離	所要時間	燃料
第1日目	45M	6.5h × 4L	26L
第2日目	48M	8.5h × 4L	34L
第3日目	48M	9.5h × 4L	38L
第4日目	48M	7.5h × 4L	30L
		合計	128L

【大島の瀬戸 転流時】

日付	満潮	転流時	引き潮
5月22日			11:00
5月23日	11:00	10:50	
5月24日	12:00		
5月25日	13:00	13:12	

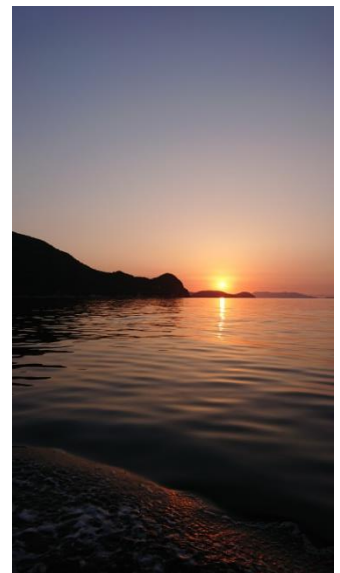
【今回のクルージング航程】 (転載元: GoogleMap)



- 5月21日(火)19:00 夕食後 明朝6時出航予定なので、息子に廿日市港まで送ってもらいヨットに前泊する。
- 5月22日(水)6:00 前さん夫婦(零)、森田さん(さおり)、我々夫婦(スペルバウンド)の3艇揃って廿日市港出航。
- 7:00 宮島沖 速度5.8ノット。タンカーとすれ違う。
岩国沖 突然の爆音。ジェット戦闘機が基地から飛び立つ。
- 10:00 大島の瀬戸通過。空色の空、水色の海、言葉そのものの穏やかな瀬戸内海に身を任す。
- 12:30 上関着岸。フェンダーが岸壁の空洞に挟まり込み、着岸に苦勞する。着岸場所を見極める必要あり。
森田さんが「船田さん抱いてくれる？」という事で[さおり]を横抱きする。
- 17:00 鳩子の湯で入浴し、レストラン「さくら」にて夕食。
森田さんのオーダーに驚く！
「わしはカレーにソフトクリーム、オレンジジュース」決定が速い！
糖尿病の私は「えっ?!めちゃくちゃカロリー高くないですか？」
「いや、全然」とお構いなし。糖尿病の私は正直うらやましい・・・。

5月23日(木)快晴

- 5:00 令和元年初の朝陽に見送られ、上関を出航。
3艇はひたすら別府を目指す。
- 13:30 別府北浜ヨットハーバーに予定よりく着棧。このハーバーは民間経営のようだ。領収書には『ささきコーポレーション』と書かれている。(係留費3,700円・電気代260円)隣接地に大きな建物のゆめタウンがあり、また近くには星野リゾートホテルの建設予定地もある。前さん夫婦は、早速ゆめタウンで買い物をする。大通りを渡り、横道に入ると、威風堂々としたいかにも古そうな『竹瓦温泉』があった。
明治12年(1879)創設、当初は竹屋根ぶきの浴場で、その後改築され瓦ぶきとなった為、『竹瓦温泉』の名称が付いた。
現在の建物は、昭和13年(1938)に建設され、ここにも明治・大正・昭和・平成・令和と続く歴史があった。入泉料100円は安い！
シャンプーは各50円を自動販売機で買う。
脱衣場にはドアが無い。人目が気になるので奥へ奥へ・・・。
階段を降りると10畳位の四角い空間の真ん中に丸い浴槽がある。
地元のおばあちゃんに「風呂の縁に座ったらいけんよ。神様がおるから」「裾を洗ってから入るんよ。」と言われた。



入るんよと言われても熱くて入れない！50℃位はありそうだ。水道の蛇口から水で温度を下げる様になっているが、若そうな1人の女性が1つしか無いその蛇口を独占している。いくら源泉かけ流しでもシャンプーは？と躊躇っていると

「シャンプーしても髪がゴワゴワしないよ。」とおばあちゃん。湯舟の湯で身体も洗い、髪も洗うようだ。私は（えい！郷に入ったら郷に従えよ）と決心して湯舟にも浸かった。肩まで浸かると真っ赤になった。別府には「血の池地獄」とかオドロオドロしい名の温泉があるが、私は「釜茹で地獄」を経験したようだ。この温泉には砂風呂もあり、地元の人たちは日に何回も通うと言う。

竹瓦温泉からそぞろ歩きしながら、本日の食事処を探す。ラーメン、焼肉、鶏料理屋がズラリと並ぶ中「ここまで来たら関サバが食べたいね〜。寿司屋にしようか？」と私。寿司屋はまだ準備中だったが、快く迎えてくれた。関サバは確かに美味しかった！しかし料金が2人で15,000円は高い！夫が「刺身は嫌いだけど、この関サバは美味しい!!」と絶賛する。私は夫が喜んでいるのを見て、（まあ、良いか）と自分に言い聞かせた。



5月24日(金)5:00 別府北浜ヨットハーバー 出航。本日も朝陽が眩しい。

14:30 上関 着岸。

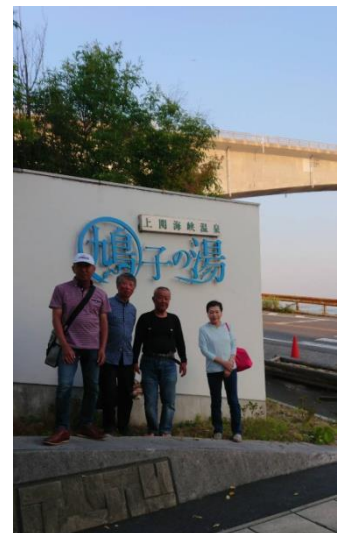
岸壁では漁船から荷卸ししたばかりのアカモクを段ボールに詰込み、下関ナンバーのトラックに積み込んでいた。アカモクは下関から福岡に流通するそうだ。名古屋から来たヨットマンが「アカモクって何ですか？」と聞いて来た。「モズクと同様の海藻で、パッと湯がいて冷水で洗って酢の物にして食べると美味しいですよ。」と答えた。

17:00 鳩子の湯で入浴。

17:30 レストラン「さくら」にて夕食。

森田さんは「カレー、ソフトクリーム、ジュース」「えー！またそれなの?!」(各人の好みですからね)「奥さん、ゆで卵ありがとう。美味しかった。わしは大好きなんよ〜。」

19:00 森田さんにサラダとゆで卵を作り、夫に届けてもらう。



- 5月25日(土) 本日は出航時刻が遅いので、ゆったりのおんびり朝食を楽しむ。
メニューは石窯パン、スープ、ベーコンエッグ、ポテトサラダ、
ヨーグルト、バナナ、香高いコーヒー。
- 7:30 上関 出航。
- 9:20 大島の瀬戸 速度は連れ潮に乗り、8.9ノット。
- 11:15 阿田多島沖 釣舟がとても多い。
速度6.1ノット。波も穏やかなので、昼食に取り掛かる。
メニューは、スパゲティナポリタン。
- 12:30 宮島沖。
- 14:03 廿日市 着棧。